
幻想入りの人物アイデア膨らませ 2

麻雀小僧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻想入りの人物アイディア膨らませ2

【Nコード】

N6908P

【作者名】

麻雀小僧

【あらすじ】

<http://ncode.syosetu.com/n64820/2/>のキャラを使って勝手に話を作った。

日帰り（前書き）

<http://ncode.syosetu.com/n64820/2/>のキャラを使って勝手に話を作った。

日帰り

気がついたら木々に囲まれた小道を歩いていた。
なあになんて事は無い。

若年性痴呆症と夢遊病を同時発症している俺にはこの程度のことは
日常茶飯事だ。

俺は慌てず騒がず勤めて冷静に震える我が手を必死に押さえて携帯
を手に取る。

『GPS』

これが俺を現世に留めてくれる唯一絶対無敵の素敵機能。

これを使えばお家に迷わず帰れますけど電波が届いてません。
思わず携帯を地面に叩きつけようとして踏みとどまる。

割と高かったし。

電波が無いのはこの携帯のせいじゃないし。

冷静に、勤めて冷静に携帯をポケットに戻す。

風が吹き木々がざわめく。

途端猛烈な孤独感に襲われ脂汗が全身から噴出す。

俺は二度と家に帰れないのではないだろうか、このまま誰にも見つ
からず死んでしまうのではないだろうか。

ネガティブな感情が次々と浮かんでは頭の中をぐるぐると回ってい
く。

俺は深呼吸をして冷静に冷静に冷静にそれを整理していく。

医者にも言われた。

パニックにはなるなど。

とりあえず人だ、人を探そう。

人に道を聞けば帰れる。多少道が遠くても財布はある。電車なりタ
クシーなりを使えばいい。

大丈夫。

帰れる。

帰れるぞ俺。

とりあえず道を真直ぐ進もう。

暫く歩いて人の気配が全然無かったら戻って来れば良い。

俺は勇気を出し一歩踏み出した。

その時道の向こうから少女が現れた。

誰かを探しているような様子であたりをきよるきよると見回しながらこちらに歩いてくる。

俺にはまだ気づいていないようだった。

声をかけると少し驚きながらも丁寧な話を聞いてくれた。

親切な子だ。

俺はその子に迷った事を伝え道を尋ねると「外来人の方ですか？」

と問い返された。

質問の意味がわからず首を傾げると「こっちです」と手を引いて案内をしてくれた。

暫く小走りでされるがままに道を進むと大きな階段が見えてきた。

その階段の下に着くと少女は手を離し「ここを上った先にある神社に行けば無事に帰れると思います」と言ってくれた。

俺がありがとうと言うとその子はニコリと笑って来た道を戻っていた。

遠ざかる少女の背中に今一度感謝の言葉を浮かべて階段を上り始める。

改めて見上げればかなり長さであり、さらに言えば結構急な階段だった。

膝に手を乗せ一段一段上っていく。

体力が無いわけではないがこんな階段上り慣れてるわけもない。

ああ空でも飛べたらな。

なんて考えていると階段を上りきった。

巨大な鳥居と社が見える。

なるほど確かに神社だ。

鳥居をくぐると丁度奥からこの神社の巫女さんらしき少女が出て来

た。

俺はその少女に駆け寄り事情を説明する。

すると少女は聞きながら何回か小さく頷くと神社の裏手を指差し「
此処を真直ぐ抜ければ帰れますよ」と言った。

俺は泣きながら感謝の言葉を告げその少女が指を指す方向に向かって進んだ。

そうして神社の裏手の林を抜けると

僕の目の前に見慣れた道路が現れた。

道に迷い途方にくれていたが彼は無事に帰ってこれたようだ。

此処から家まで歩いて20分。

途中でスーパ―によって行こう。

今日はすき焼きが食べたい気分だ。

そういえば材料は二人分買えばいいのかな？

日帰り（後書き）

基本的に書かれていることは忠実にやってるつもり。
書かれていないことは勝手にやらせてもらってる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6908p/>

幻想入りの人物アイデア膨らませ2

2010年12月30日20時25分発行